

さんさん、きらきら 50号

光り、輝く、チーム南陽小 ～考えよう、語り合おう～

令和5年11月24日
長崎市立南陽小学校
学校だより
校長 寺田 成広

日曜日はいよいよ「ふるさとまつり」開催

26日(日)は、いよいよ4年ぶりの開催となる「ふるさとまつり」です。

3年間のブランクがあり、またコロナ禍明けで学校行事の見直しを進める中でしたが、保護者・地域の皆様に、子どもたちの健やかな成長を見ていただく機会とはとても大切だとの考えから復活させました。お忙しい中とは思いますが、ぜひ足を運ばれて、ご自分のお子さんの活躍はもちろんのこと、地域(ふるさと)で育つ子どもとして他の子どもさんの姿もご覧になって、見守り育てる気持ちで温かい拍手を送っていただければ幸いです。

なお、久しぶりの開催ということで会の進行や会場設営等で行き届かないことがあるかもしれません。子どもたちの発表準備を含めて、「時間をかけ過ぎないふるさとまつり」を運営方針としてきましたので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

下の画像は、6年生『南陽よかここプロジェクト～伝統的な浮立の継承～』の練習の様子です。

6年生の平山浮立の練習には、毎回10名前後の「平山伝統芸能保存会」の皆様が来校され、ゲストティーチャーとしてご指導してくださっています。そのおかげで、子どもたちは技能がメキメキと上達し、浮立の練習が始まると、校内に心地よい太鼓と横笛の調べが響いています。



右の画像は、2年生『南よのすてきをつたえたい』のリハーサルの様子です。町探検でお世話になったお店や施設等で聞き取ったことを、グループ別に暗唱していました。発表の始めと終わりには歌も歌い、最後のメッセージは、地域に向けた子どもたちの思いがこもっていました。2年生の子どもらしい素直さや明るさが感じられるすてきな発表です。

他の学年も、これまでの学習を生かした発表を着々と準備し、本番に向けて最後の仕上げの段階です。

子どもたちの光り、輝く姿がたくさん見られると思います。ご期待ください!!

本日より寒波が南下し、当日も冷え込みが厳しくなりそうですので、温かくしてお越しください。

ひなた学級「特別支援学級南部ブロック交歓会」へ出場

11月14日(火)、標記の会が三和体育館で開催され、本校から「ひまわり学級」、「なでしこ学級」、「たんぽぽ学級」在籍の子どもたちが出場しました。

この会は、特別支援学級の子どもたちが、集団行動や運動競技等を通して、お互いの交流を深めるために行われています。そのため、南部ブロックでは競技ごとに学級内でチームに分かれて、他校の子どもたちとチームをつくって活動します。急造チームなのですが、子どもたちはチームのために協力しながら楽しそうに活動していました。競技にひたむきに取り組む個々の成長も随所に感じられた実り多い時間でした。



他の画像はこちら ⇒ [ひなた学級 交歓会出場 | 長崎市立南陽小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)](https://nagasaki-city.ed.jp)